

## 『小学生のためのエコ学習トランク教室—第6回』報告書

■目的 21世紀を生きる子どもたちに、地球温暖化の現状と原因を伝え、温暖化防止の為に自分たちにできることを学んでもらう。又、参加した子ども達を通して、温暖化防止活動が家族全員に伝わり、広がっていくことを期待する。

■開催日時 2016年8月25日(木) 10:00~11:30

■会場 東岐波ふれあいセンター 講堂

■参加者 37名

■講師 溝田 忠人(お話)

野村加代子(紙芝居)

名越 久美(紙芝居)

■スタッフ 殿河内、兼久、木原、松井(文責)—以上 UNCCA

### ■内容

(1) お話「うべのすてきなものをたくさんみつげよう」

講師が日々の生活の中から見つけた、様々生物を紹介し、自分たちの周辺にある豊かな自然を守ることの大切さを子どもたちに伝える。

(2) 紙芝居「ゴミってなあに」

- ・使うものは全てゴミになる
  - ・ゴミの削減は地球の資源を守ること
  - ・宇部市のゴミ処理の仕組み(ゴミの分別、リサイクル)
  - ・モノを大切にすれば地球温暖化防止になる
- 等のことを、クイズや分別実習を通して伝える。

(3) 廃棄物を利用して遊具をつくる

粘土遊び用の粘土を作るため、廃棄物の発泡スチロールをエコソルブに溶解する実験に全員が参加。(翌日、溶解液からスチロールゲルを取り出し、ケイ酸マグネシウムを加えて粘土を製造した。後日、粘土細工実施予定)

(4) アンケート実施

- ・参加者を対象に、環境教室と省エネに関するアンケートを実施。
- ・教室の内容について、「面白かった」81%、理解度は「良く分かった」49%「大体分った」43%の回答があり、内容がほぼ理解されていることを確認。
- ・省エネの取り組みについて、「実施している」「実行する」と答えた人が97%あった。(別紙「エコ学習トランク環境教室アンケート結果」参照)

## ■写真



写真-1 溝田先生のお話



写真-2 紙芝居の始まり



写真-3 ゴミを分別する



写真-4 段ボールコンポスト



写真-5 最終処分場はあと何年



写真-6 発泡スチロールを溶かす実験



写真-7 エコソルブを入れる



写真-8 発泡スチロール溶解

## ■感想・その他

- ① ゴミ問題の教室の2回目。1回目の問題点を改善し、話の流れもよくなり、子ども達もクイズや質問に積極的に参加してくれて、教室は成功であった。
- ② 発泡スチロールの溶解実験で作った溶解ゾルはケイ酸マグネシウムを加え、粘土にして、工作用の板、ヘラと共に子ども達に送った。
- ③ ゴミの分別実習では、子ども達ほとんど間違えることなく分別したことに感心した。

以上